

令和3年度 ナースの星オンライン ACP研修

第1回 ACPとSDM

JCHO横浜中央病院 総合診療科

小澤康太

令和3年7月21日

もくじ

ACPとは？

SDMとは？

ACPを含んだSDMの実践

ACP = アドバンス・ケア・プランニング (人生会議)



「もしものとき」のための話し合い

人生会議

「人生会議」とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと話し合い、共有する取組のことです。



人生会議



人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

もしものときのために

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。



話し合いの進めかた (例)



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い共有する取組を「アドバンス・ケア・プランニング (ACP)」と呼びます。あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

このような取組は、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/sunya/kenkou_iryuu/iryuu/iryuu_index.html



2040年までに日本人の1/4が死にます。

令和元年の死亡者数は約137万人だった。
2040年には死亡者数が約160万人に達すると言われている。

平均で毎年約150万人が20年間死亡し続けると、
 $150\text{万人} \times 20\text{年} = 3000\text{万人}$

これは、日本の人口1億2000万人の約1/4に当たる。

高齢化社会 → **多死社会**

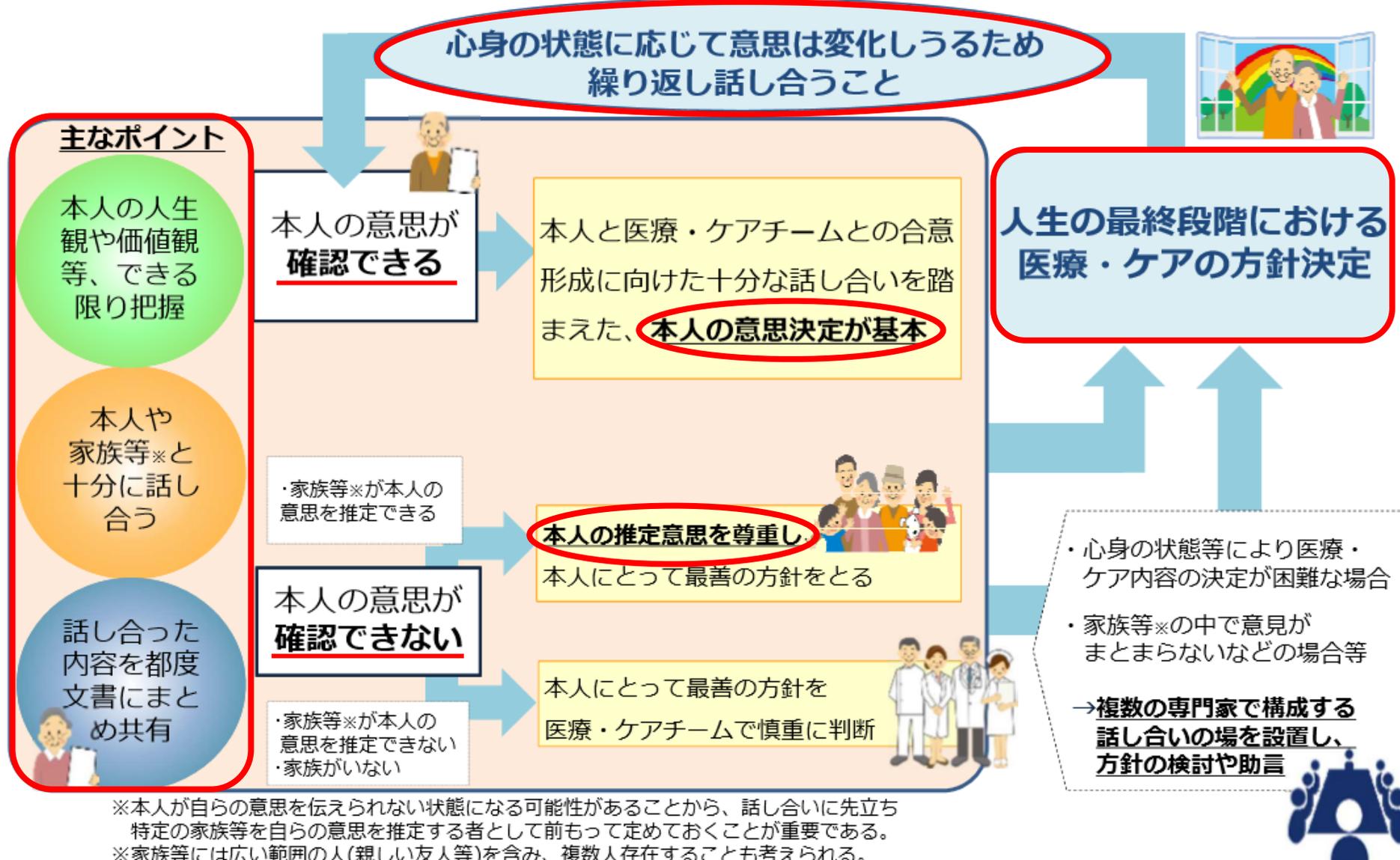
人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

もしものときのために

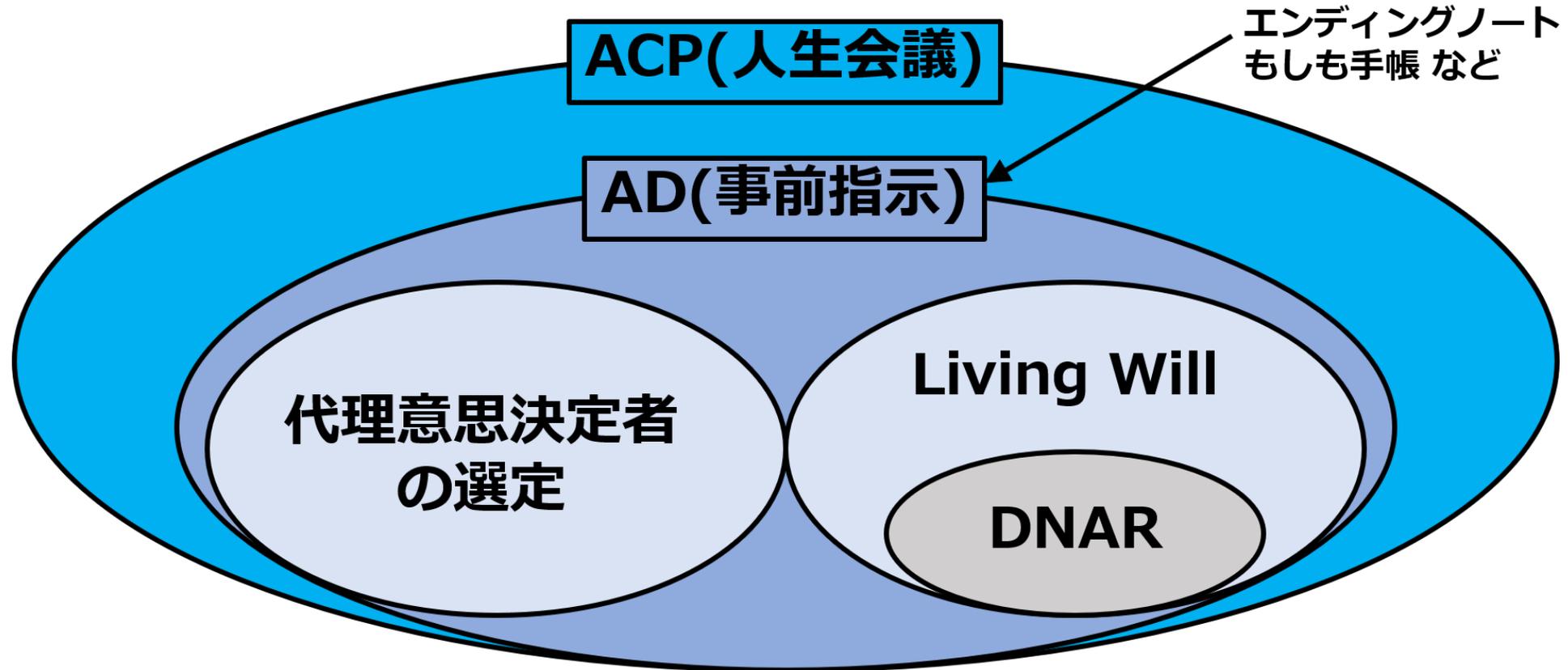
～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」 における意思決定支援や方針決定の流れ（イメージ図）（平成30年版）

人生の最終段階における医療・ケアについては、医師等の医療従事者から本人・家族等へ適切な情報の提供と説明がなされた上で、介護従事者を含む多専門職種からなる医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本として進めること。



ACP(Advance Care Planning)と AD(Advance Directive)の違い



人の気持ちは状況によって変化するもの
ADをすべての状況に適応することには無理がある。

ACPとは、
本人の意思を尊重できるようにする
ための話し合い

死の受容へ至る条件

人は死に際して、悲嘆過程を辿る。

悲嘆過程とは、否認→怒り→取引→抑うつを経て受容に至るプロセスのこと。

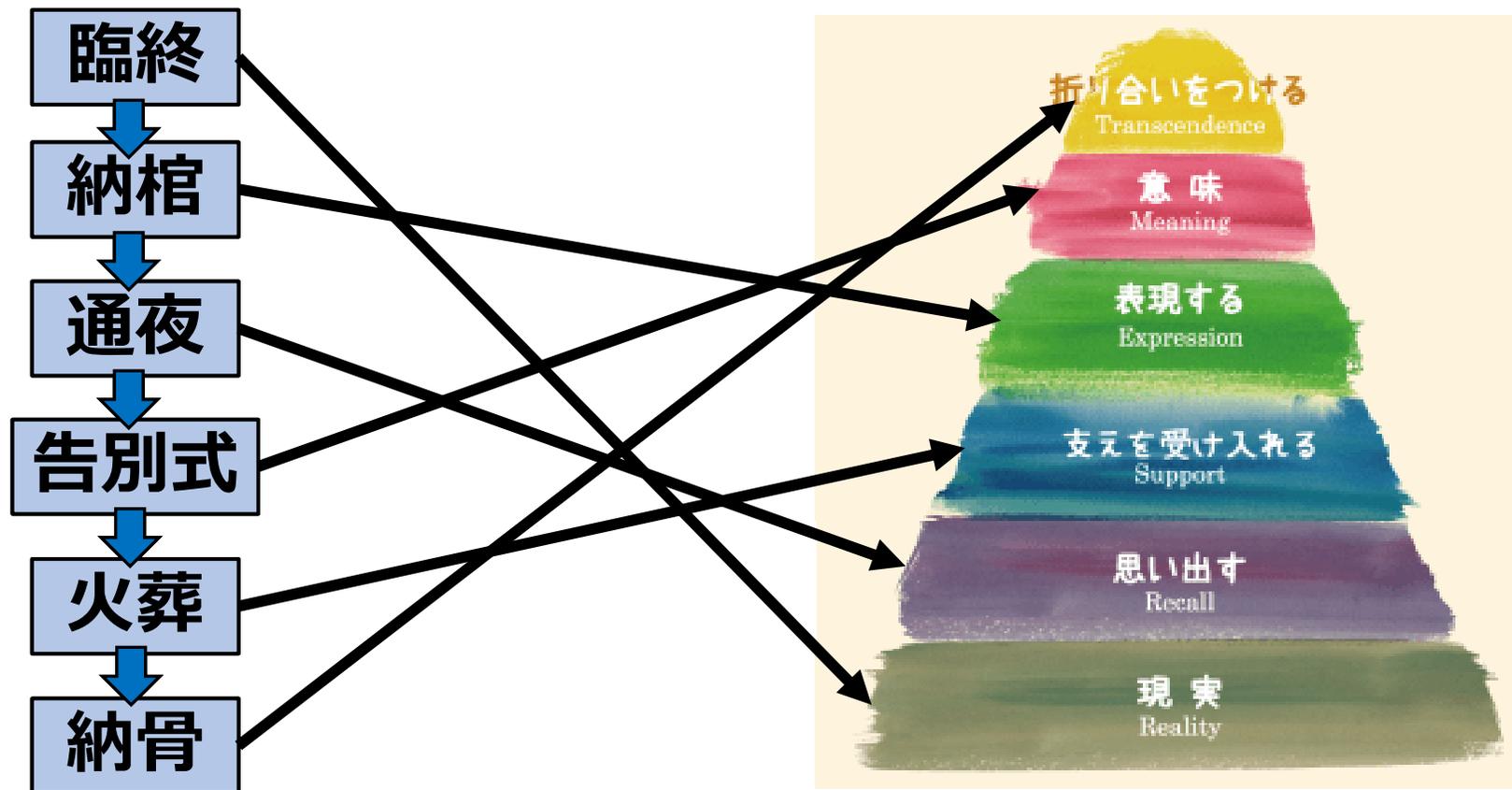
悲嘆過程が進むためには、6つの条件を満たす必要がある。



葬儀に学ぶ6つの満たし方

葬儀を行うことで

6つが満たされていき

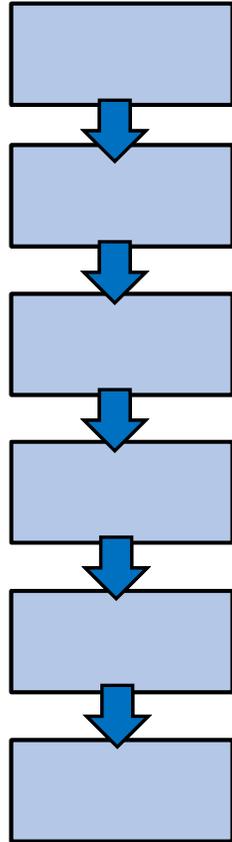


悲嘆過程(否認、怒り、取引、抑うつ)が進み受容に至る

医療現場における儀式

話し合いを行うことで

6つが満たされていき



悲嘆過程（否認、怒り、取引、抑うつ）が進み受容に至る

話し合いの過去、現在、未来

過去

ムンテラ

(Mundtherapie)

→自動的に決まる (手術)



現在

IC

(Informed Consent)

→選択肢から選ぶ (手術, 抗癌剤, 放射線)



未来

SDM

(Shared Decision Making)

→価値観を共有しながら一緒に考える



S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

M
a
k
e

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える



S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

M
a
k
e

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える

表現する
Expression

まずは、とにかく聞くフェーズ。
患者・家族のニーズは何か？
・現状をどう捉えているのか。
・どうなることをを望んでいるのか。
多くの場合は
・現状を楽観視している。
・検査して、治療して、治してもらいたい、と望んでいる。

スタート地点を知っていないとサポートすることはできない。
ひたすら聞くことでスタート地点を知るとともに、信頼を得てラポールを形成する。

S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

M
a
k
e

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える

現実
Reality

こちらから説明するフェーズ。
施行した検査の結果を告げ、死を突き付けることになる。
良くあるのは末期癌、認知症、嚥下障害による摂食不良からの衰弱。
人工栄養、療養先の選択肢をメリット・デメリットを併せて説明。
人工栄養をした場合の最期は誤嚥性肺炎で苦しみながら迎えることが多い。衰弱・老衰の場合、死はすぐに訪れるが、苦しみは少ない。
ペーシング、観察、確認、質問など話しながらもアンテナを張る。

S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

M
a
k
e

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える

意味
Meaning

食べられなくなったら栄養失調で死ぬのは動物として自然なこと。寿命だとも言える。

人工的に栄養を投与することは欧米では延命だと考えられている。

結果、日本は世界で1番寝たきり老人が多い国。看取りという選択肢もある。

少しでも長く生きていることに価値があるのか、人間らしく生きていることに価値があるのか。

とはいえ、そんなに簡単に割り切れるものではない。

S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

M
a
k
e

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える



どういった人生を送ってきたのか、何を大事にしてきたのか、何に誇りを持っていたのか。

残された時間で何をしたいのか、何をしてあげたいのか。

本人はどういった最期を望んでいるのか、望んでいたのか。

もし、本人が自分で選ぶとしたら、どんな選択をすると思うか。

医療業界でACP(アドバンス・ケア・プランニング)、人生会議と呼ばれているフェーズ。

S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

M
a
k
e

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える

表現する
Expression

様々なことを考えてきた中で、最終的にどうしたいか、どうしてあげたいか。何を大切にしたいか、してあげたいか。誰の気持ちを最も尊重してあげたいか。

それぞれ自分自身の言葉で語ってもらう。

S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

M
a
k
e

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える

本人の望み、家族それぞれの立場、家族内の人間関係、経済状況など複雑に絡み合っているが、ここまで共有した内容を基に、結論を出す必要がある。

大切なのは「**答えは本人・家族が持っている**」ということを絶対に忘れないこと。

医療者に必要なのは全員が納得できる落とし所はどこなのかを見極めて**まとめる力**。**正解**ではなく、**納得解**へと導く力。

そして、決断した内容を最大限に尊重し、**支持する**言葉、讃える言葉を掛けること。

S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

M
a
k
e

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える

支えを受け入れる
Support

決断した内容を出来る限りサポートするための体制作りを、医療・介護・福祉を含めて行う。

ここでも主役は本人と家族。価値観に寄り添ったサポート体制を組む。

ここから最期を見据えた上での療養生活が始まる。

これで主治医としての関わり合いは終わり、次にバトンを引き継ぐことになるが、何かあったらいつでも助けになれるよう門戸は開いていることを伝える。

S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

M
a
k
e

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える

折り合いをつける
Transcendence

療養生活を送る中で、悩み、葛藤することもある。決断を後悔したり、これで良かったと思う出来事もある。そんな時間を過ごしながら、徐々に折り合いをつけていくことになる。

完全に折り合いがつくのは最期を迎えた後になるのであろうが、何もサポートが無かった場合と比べて少しでも悲嘆が軽減されていれば喜ばしく思う。

家族から報告とお礼の連絡があった時は胸が温かくなる。

S
h
a
r
e

今の希望を表現する

病状を受け止める

人生の意味を考える

生き様を思い出す

これからの希望を表現する

Decision

支えを受け入れる

折り合いをつける

最期を迎える

M
a
k
e

折り合いをつける
Transcendence

表現する
Expression

現実
Reality

意味
Meaning

思い出す
Recall

表現する
Expression

支えを受け入れる
Support

現実
Reality

意味
Meaning

思い出す
Recall

表現する
Expression

支えを受け入れる
Support

まとめ

ACPでは本人の意思決定を何よりも尊重する

ACPは意思決定プロセスの一部でしかない

ACPを行うためにはSDMが必要不可欠である

成長の4段階

